
病みつきFate ~ 予告 ~

勦b

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

病みつきFate予告

【コード】

N0033BA

【作者名】

勦b

【あらすじ】

私が書くころと想っている連載予告です

暇潰しにでもなれば幸いです

朝、彼女は寝起きの俺に言う。

「先輩、おはようございます」

「もう、寝呆けてるんですか？ そんな先輩も大好きですよ」

「ほら先輩、あーん」

朝、そんな桜との会話を見ていた彼女が言う。

「彼から離れたらどうですか、サクラ

彼の迷惑を考えてください」

朝、そんな2人とは別に登校していた俺に彼女は言う

「全く、桜もセイバーも困ったものね。

君は私のモノってことを忘れてるのかしら？」

朝、凜と会話していると彼女が声を掛けてくる。

「あらあら、彼があなたみたいな小娘のモノだなんて……

笑えない冗談は止めてくれないかしら。

この子は私の

私だけのモノよ」

夜、バイト帰りの俺に彼女は言う

「探したんだよ、お兄ちゃん」

「お兄ちゃんにね、お願いがあるの」

「イリヤのモノになってよ」

夜、埒監禁された俺を愛おしそうに見ながら彼女は言う

「お兄ちゃんはこれでいいんだよ。」

私の傍から離れないのがお兄ちゃんの幸せだよ。
そっだよね

これで、私の傍から離れずにすむんだよ
幸せだねお兄ちゃん」

夜

俺を助けてくれた彼女

セイバーは言う

「私が貴方を守ります。」

ですので、私の傍から離れないようにしてください。
守りますから

私は貴方を絶対に守ります

ですので、傍にいてくださいね
私の傍から離れないでください

「

そう言って手を差し出す彼女

俺はこの手を取るべきなのか

あるいは

振り払うべきなのか

(後書き)

こんにちはー 勅bでーす

他にも連載予告を投稿したため、総合評価が一番高いやつを連載
……するかも？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0033ba/>

病みつきFate～予告～

2011年12月31日00時52分発行